

送付先:

(一社)日本臨床腎移植学会事務局内「献腎が無機能であった場合の待機期間の評価委員会」

佐々木ひと美 委員長 宛

〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13

TEL 03-5981-6011 / FAX 03-5981-6012, E-mail: jsCRT@asas-mail.jp

献腎が無機能であった場合の待機期間継続および再登録に関する申請書

記入日

記入者

施設名

主治医

申請項目 (□にチェックしてください)

登録継続

ドナー側の要因 (絶対的因子)

ドナー側の要因 (相対的因子)

再登録の可否

レシピエント側の要因 (絶対的因子)

レシピエント側の要因 (相対的因子)

患者氏名

患者年齢・性別

移植日

無機能になった期間

移植医 (移植責任者) 名

患者経過要約 (チェックリストを必ず添付してください)

要因チェックリスト

(当てはまるものをすべてチェックしてください、因子を示す資料を添付してください)

ドナー側の要因

絶対的因子

- 温阻血時間(WIT) > 30 分
- 総阻血時間(TIT) > 24 時間
- ドナー高齢(70 歳以上)

相対的因子

- 術前無尿期間(> 24 時間)
- 0 または 1 時間生検で微小血管血栓あり
- 周術期の低血圧
- 小児腎ドナー
- 脳腫瘍患者(多くは心停止で温阻血時間延長)
- WIT あるいは TIT が長時間
- HbA1c が 6.5 以上
- ドナーが腎臓病を有していたと考えられる場合
- 両腎とも無機能であった場合

レシピエント側の要因

絶対的因子

- 自己怠薬

相対的因子

- 拒絶反応
- 心疾患, 心不全
- 溶血性尿毒症症候群(HUS), 血栓性微小血管症(TMA), 巣状糸球体硬化症(FSGS)の再発

その他

ドナー側の因子

- 移植腎動脈および静脈血栓症
(*献腎に血栓が存在, ドナー腎動脈の高度の動脈硬化, ドナー腎動静脈に損傷や狭窄*)
- 手術手技
(*献腎の摘出時に腎動静脈, 腎盂, 尿管, 腎実質に損傷があり, 血管吻合や尿管吻合が困難な場合や腎臓実質の補修が困難な場合*)

レシピエント側の因子

- 移植腎動脈および静脈血栓症
(*レシピエントの高度の動脈硬化, 静脈狭窄または閉塞, 凝固異常など*)
- 手術手技
(*レシピエントの高度の動脈硬化, 静脈狭窄または閉塞, 高度の膀胱移植や尿路系の異常*)

原因が特定できない因子

- 移植腎動脈および静脈血栓症
(*ドナー, レシピエント, 手術手技以外で原因が特定されない場合*)